

お知らせ

◆第13回遠藤周作学会・全国大会

日時 9月15日(土)
13時30分～18時20分
会場 上智大学 6号館3階
(3S05教室)

※13時～13時半まで総会。そのあと研究発表。遠藤周作文学における「黒い人」神谷光信、「黄色い人」論 北田雄一、「わたしが・棄てた・女」論 余盼盼、「聖母讃歌」にあらわれる遠藤の信仰態度に関する一考察 松橋幸代、キリスト作家と戦中派作家の接点 増田斎。15時10分頃から上智大学・川村信三教授による講演「カトリック視点による遠藤『沈黙』の提起する諸問題―神義論・教会論・救済論」が行われます。

なお終了後「主婦会館プラザエフ」にて懇親会(会費制)もあります。連絡先事務局 笛木美佳子研究室 (昭和女子大学) 03-3441-5019

◆サロン・ド・遠藤周作 講座(東京)

日時 10月27日(土)
14時30分～16時
ゲスト 今井真理

テーマは『遠藤周作全日記』解説を終えて「遠藤日記のこぼれ話です(インタヴューアは加藤宗哉)」。場所 慶應義塾大学・三田校舎内

「萬来舎」(南校舎3階) 会費 1500円(飲み物代共)

※会員以外の参加希望者は、堀川由紀子まで、メールでお申込みください。折り返しご連絡さしあげます。

※終了後、大学近くで懇親会も行われます。 yukikomd@gol.com

◆朝日カルチャーセンター講座(大阪) 遠藤周作と長崎潜伏キリシタン

講師 山根道公
日時 10月15日(月) 16時～18時
場所 大阪・朝日カルチャーセンター中之島教室
066-2221-5222

◆講座(東京) ドストエフスキーと芥川龍之介、遠藤周作

講師 山根道公
日時 10月14日(日)、11月14日(日)
ともに15時30分～17時
場所 四谷・幼きイエス会
03-3261-0825

参加費 千円(学生半額) 申込不要
※問合せ先 「風」編集室
086-2227-5665

◆「会報」の原稿募集

会員の皆さんの原稿を募集します。900字(半ページ分)あるいは1800字(1ページ分)。遠藤周作の人と作品について、あるいは遠藤文学との関わりなど何でも結構です。

なお、原稿は必ず下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」宛てに郵送してください。ふるってのご応募をお待ちしています。掲載の際にはご連絡差し上げます。

◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」では会員を募集しています。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという方々も大歓迎です。

年会費は3000円。年4回発行の「会報」が送られるほか、会が主催する「文学セミナー」や遠藤文学の足跡を訪ねる「遠藤文学・原点の旅」への案内、新年会や各種懇親会に参加できます。

すでに会員の方も、ご家族や友人、知人をお誘いください。下記の「周作クラブ」(加藤宗哉事務所内)まで、ハガキかファックスでお知らせください。折り返し案内書と会費振り込み用紙をお送りいたします。

■お詫びと訂正■前号(第71号)

8面、高尾直子さんの記事「周作クラブ長崎便り―料亭・花月にて」の中で、「藤間流の名取森香子会員による祝舞が披露された」とあったのは、正しくは「名取・森美香子会員」でした。著者および森美香子さんに深くお詫びし、ここに訂正させていただきます。(編集部)

編集後記

▼西日本を中心に襲った豪雨災害、大阪府北部地震で多くの方が被災されました。衷心よりお見舞い申し上げます。

▼遠藤先生の心の故郷、多くの作品の舞台となった長崎が、ユネスコの世界文化遺産に登録され、文学館も新企画と二部がリニューアルオープンしました。多くの方々にも長崎そして文学館を訪れて頂きたいですね。

▼酷暑に台風の逆走。今夏は異常気象です。厳しい夏を乗り越え、元気に周作忌をお祝いしましょう。(佳)

▼180cm近くあった遠藤先生。今となつては正確な数字はわかりませんが、長身の先生のスーツ姿はともダンディでした。

▼副編集人を承つてから、初めての編集後記です(一田さんの助けを拝借しています)。ここ何号かは、長崎からの便りや連載物に救われています。

▼前号の編集後記に書かれていた長崎の朗読劇、再演が実現します。聖母マリアを演じるのは? (園)

「周作クラブ」第72号

2018年8月発行

- 発行人 加賀 乙彦
- 編集人 高橋千劍破
- 副編集人 亀岡 園子
- 編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、南紀洋子
- 発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」
- TEL 080-1097-1979
- FAX 03-3421-1521

●次回の会報発行は11月の予定です。